

## 授業展開例（生活単元学習）

1 校種・学年 特別支援学校（知的障害・自閉症） 中学部 第1学年

2 単元名 冬の生活～冬の遊びを楽しもう～

3 単元設定の理由

生徒観 省略

単元観

日ごろ、学校生活の中では、少しずつお互いの関係づくりができていますが、同じ遊びを経験したことは、今までにほとんどない。本単元では、昔から伝わる、伝統的な遊びを経験する。これらの遊びをとおして、学級の仲間とともに経験することを通して、互いを意識したり、関係を深めたりすることを学ばせたい。

指導観

指導にあたっては、活動に見通しがもて、「わかる」「できる」といった安心感をもたせ、楽しみながら活動に取り組むことができるようにする。

また、「友だちと一緒に活動できてよかった」と感じ、生徒たちが学級での活動に意欲的に取り組むことができるように配慮する必要がある。そこで、授業では、次の7点に留意して指導することとした。

授業の流れがわかり見通しがもてるよう、授業の流れを掲示し、終わりの時間を記入しておく。

本時の目標を赤い文字でホワイトボードに記入し、意識付ける。

ゲームの活動内容がわかるように、また途中でわからなくなったときに手がかりとなるように、手順やルールをホワイトボードに記入して掲示しておく。

すごろくでは、さいころを「はい、どうぞ」と直接、手で渡すことで、友だちとかかわる場面を意識的に作る。

友だちとかかわらなければできないことを、意図的にすごろくのマス目の指示に入れ、楽しさを経験させる。

ルールが守られているときや、適切なコミュニケーションが見られたときは、しっかりと評価をする。

生徒が混乱を起こしそうな場面を想定し、言葉かけなどの支援の仕方について、教員間で共通認識を持っておく。

4 単元の目標

ルールを理解し、見通しをもってゲームに参加する。

友だちとコミュニケーションを取りながら活動する。

伝統的な遊びを通して、友だちと競ったり一緒に遊んだりする楽しさを経験する。

5 指導計画（全13時間） 省略

## 6 本時の目標

### 全体の目標

- ・さいころを振る順番，駒の進め方，マス目の指示に従うといったルールを守って，友だちとすごろくを行う。
- ・「はい，どうぞ」と言いながらさいころを渡し，友だちとコミュニケーションを取りながら活動する。
- ・友だちの活動を見たり，競ったりして，人とのかかわりを楽しむ。

### 個々の目標（生徒A，B，C，D）

生徒名	これまでの様子	目標
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲーム性のあるものには，とても興味を示す。</li> <li>・すごろくのルールは，ほぼ理解できているが，早くゴールしたいという気持ちが強く，さいころを何度も振ろうとしたり，マス目の指示に従えなかつたりする場面も見られる。</li> <li>・「早くやって」「次は 君の番」など，簡単な語句で意志を伝えることはできるが，自分の世界に入っているときは，人からの話しかけに応じないときもある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マス目の指示に従って活動する。</li> <li>・自分から「はい，どうぞ」と言ってさいころを渡す。</li> <li>・活動の場面で自分から友だちにかかわる。</li> <li>・振り返りの場面で，自分のことばで表現する。</li> </ul>
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めてのことにに対する抵抗感が強く，自分でやり方を理解してから動き始める。</li> <li>・自分でやろうとする気持ちが強く，作業を途中で制止されたり，やり直しを命じられたりすることを嫌う。すごろくのルールは理解できている。</li> <li>・簡単な会話のやりとりはできるが，援助を求めることが難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルールを守って，一人でさいころを振り，一人で駒を進める。</li> <li>・分からないとき，困ったときに「手伝ってください」と，援助を求める。</li> <li>・自分から「はい，どうぞ」と言ってさいころを渡し，「ありがとう」と言いながら受け取る。</li> <li>・活動の場面で自分から友だちにかかわる。</li> <li>・振り返りの場面で，自分のことばで表現する。</li> </ul>
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見通しの持てないことや自信がないことには消極的であるが，活動の内容やルールが分かり，見通しが持てると意欲的に活動できる。さいころの数は正しく数えることができるが，駒の進め方は理解できていない。</li> <li>・他者とかわりたい気持ちがあるが，適切なコミュニケーションをとることが難しく，不適切な言動で相手の関心を引こうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員と一緒に数を数えながら，出た目の駒を進める。</li> <li>・「はい，どうぞ」と言って，さいころを渡す。</li> <li>・活動の場面で自分から友だちにかかわる。</li> <li>・振り返りの場面で，自分のことばで表現する。</li> </ul>
D	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルールを理解して一人で活動することは難しいが，指さしなど動作によるサインを見たり，教員を模倣したりすることで活動することができる。</li> <li>・自分から言葉を使って他者に働きかけることは少ないが，教員の言葉を模倣して表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さいころを渡されたら，さいころを振り，教員と一緒に出た目の数だけ駒を進める。</li> <li>・教員の言葉がけを聞いたり，指さしをみたりして，次の人にさいころを渡す。</li> <li>・活動の場面で，友だちの様子を見たり聞いたりする。</li> </ul>

### 人権教育の視点

- ・ルールを守ろうとする意欲や態度を育成する。
- ・人とかわることが楽しいことであると感じる心を育てるとともに，自他を大切にしたコミュニケーションの技能を高める。

7 準備物

すごろく，さいころ，スケジュールカード，時計，評価カード，移動式ホワイトボード

8 学習過程 別紙

9 評価の観点

- ・さいころを振る順番，駒の進め方，マス目の指示に従うといったルールを守って，友だちとすごろくを行うことができたか。
- ・「はい，どうぞ」と言いながらさいころを渡し，友だちとコミュニケーションを取りながら活動することができたか。
- ・友だちの活動を見たり，競ったりして，人とのかかわりを楽しむことができたか。

10 年間指導計画 省略

11 教室内の配置 省略

8 学習過程

学習活動	指導上の留意点 ( 課題 , 支援 , 評価 )				全体
	A	B	C	D	
1 はじめのあいさつ (1分)	号令をかける。	姿勢を整え、あいさつする。 姿勢を直すことに自分から気付くよう身振り以示す。(T2)			姿勢が整っていることを確認し、日直に号令を促す。
2 説明(5分) ・授業の流れ ・目標	T1 に注目し、挙手や指名によって本日の目標を読む。説明を聞いて、本日の目標を理解する。 T1 に注目するよう必要に応じて言葉かけを行う。(T2)	T1 に注目するよう必要に応じて言葉かけを行う。(T2)	目標を読むときは文字を1文字ずつ、指さしをする。(T1)	教員の模倣をするよう支援する。(T2)	授業全体の流れが分かるよう、ホワイトボードにスケジュールカードを掲示して説明する。 前回までの活動内容を話し思い出させる。 時計を用意して見通しを持たせる。 目標を赤い文字でわかりやすく示す。
3 活動 ・準備(2分)	自分の机を後ろにさげ、すごろくをホワイトボードに貼る。 行動が止まっているときは自分から気付くようヒントを出して誘導する。(T2)	行動が止まっているときは自分から気付くようヒントを出して誘導する。(T2)	自分の机を後ろにさげ、椅子を持って準備をする。 行動が止まっているときは自分から気付くようヒントを出して誘導する。(T2)	指さしや言葉かけを行い、一緒に準備する。(T2)	準備物がわかるよう、ホワイトボードに記入する。
・ルール説明(5分)	T1 に注目し、挙手や指名によってルールを一人ずつ読む。				生徒が注目しやすい位置に、ホワイトボードを移動する。 教員がモデルを示して説明する。
・すごろくゲーム (30分)	マス目の指示に従ってすごろくをする。 ホワイトボードのルールを確認させる。ルールを守れたときは誉める。(T1) 早くゴールしたい気持ちを我慢し、マス目の指示に従うことができる。	ルールを守って一人ですごろくをする。 動きが止まっているときはホワイトボードを見るように促し、できたときは誉める。(T2) 困ったときは手順を見たり、援助を求めたりして1人で活動ができる。	教員と一緒に数を数えながら、出た目の数だけ駒を進める。 止まっているマス目を「0」と数えはじめ、一緒に「1, 2, 3...」と数を数える。できたときには誉める。(T1) 出た目の数、駒を進めることができる。	教員の指さしを見ながら数を数え、一緒に駒を進める。 できるだけ1人でできるように様子を見ながら合図を出す。できたときには誉める。(T2) 教員と一緒に活動ができる。	ルールが守れた時には、しっかりと誉めて、生徒のルールを守ろうとする意欲や態度を育成する。
	写真カードで順番を確認し、自分から「はい、どうぞ」と言いながらさいころを渡す。 動きが止まっているときは、ヒントを出して誘導する。できたときは誉める。(T2) 「はい、どうぞ」と言いながらさいころを渡すことができる。	順番を理解し、自分から「はい、どうぞ」と言いながら、さいころを渡す。 動きが止まっているときは、ヒントを出して誘導する。できたときは誉める。(T2) 次の人を間違えずに「はい、どうぞ」と言いながらさいころを渡すことができる。	「はい、どうぞ」と言い、さいころを適切に渡す。 「どうやって渡すんだったかな?」とヒントを与え、不適切な行動がでないよう支援する。適切に行えたときは誉める。(T1) 「はい、どうぞ」と言いながらさいころを渡すことができる。	教員の支援を受けて、さいころを渡す。 できるだけ1人でできるように様子を見ながら指示をする。できたときには誉める。(T2) 教員の支援を受けて、さいころを渡すことができたか。	渡すときには、笑顔で相手の方を向いて、受け取りやすいよう、ていねいに渡すよう指導する。
	友だちの活動の様子を見たり、話を聞いたりして、自分からかわろうとする。				友だちにかかわろうとする行動がとれたときには誉める。 「はい、どうぞ」と笑顔で声をかけられたときの、心地よさを話させる。
・片付け(2分)	すごろくを片付け、机をもとの場所に戻す。 行動が止まっているときは言葉かけを行い、できたときには誉める。(T2)	片付けを忘れているときはヒントを出して誘導し、できたときには誉める。(T2)	机をもとの場所に戻す。 行動が止まっているときは言葉かけを行い、できたときには誉める。(T1)	指さしや言葉かけを行い、一緒に片付けをする。できたときには誉める。(T2)	
4 振り返り(4分)	「今日の目標が達成できましたか」の問いに答える。自己評価を行い、評価カードを貼る。				学習の中で見つけた生徒のよかった点を誉める。
	問いに答えられなかったときは、もう一度、問いかける。人とかかわりの場面など、よかったところを伝える。(T2) 自分の言葉で感想を言うことができる。	人とかかわりの場面など、よかったところを伝える。(T2) 自分の言葉で感想を言うことができる。	「 は楽しかった?」など、人とかかわりの場面などを具体的に問いかける。(T1) 自分の言葉で感想を言うことができる。	よかったところを伝える。 評価カードを自分で選ぶことができる。	
5 おわりのあいさつ (1分)	号令をかける。	姿勢を整え、あいさつする。			姿勢が整っていることを確認し、日直に号令を促す。

ゴシック体の表記は、人権教育にかかわる指導。